

H.3.11.1
 NO.53
 一発行一
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 TEL096
 293-8100

投稿

理事長 田中 稔

熊日新聞への緊急一時保護についての投稿記事。全文。

『平成学園は、熊本市により精神薄弱者を中心とする障害者の為に設立された通所更生施設です。療育と緊急保護を業務としています。療育については、園生の障害の種類や程度が多岐にわたる事や離れている為に通園バスの運行スケジュールに時間を多く使う事等のご苦労がある様聞いています。』

今回、21才の自閉症(多くの方は自閉症という障害を誤解されています)の園生の母親が手術の為に入院が必要となり、その間園生は緊急で保護が必要となりました。学園へ保護のお願いをしたところ緊急保護は7日以内だからという

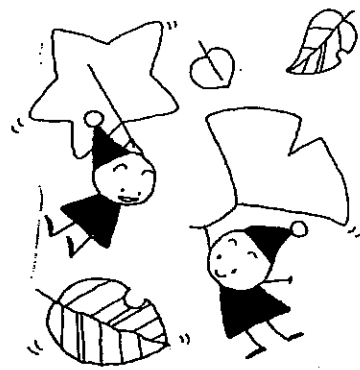
事で他の施設へ保護依頼の問い合わせがありました。今時、盲腸で入院しても7日以上かかります。福祉六法でみますと『緊急保護の期間は7日以内である事。ただし重篤な疾病、異常な分娩、災害等により保護者がやむを得ない事情にある時は必要最小限の範囲で再認定を妨げない。』原文のまま

この条文は7日間に意味があるのではなく、必要な時は緊急保護は引き受けますので安心して下さいという事に意味があるのではないのでしょうか。保護者の立場にたつて弾力的に運用され日本一の立派な建物を生かして頂きたいものです。善処をお願い致します。』
 この原稿を郵送した翌日、熊日より内容確認の電話があり更にその翌日、市の関係者の方が私の医

院の方へ来られ『善処します。』という話をして帰られました。この原稿は結果的には熊日には載りませんでした。

この様な問題がこの様な方法でしか解決されないのは困った事です。本来なら準公的組織である育成会等が双方の窓口となり機能して頂くのが良いのではないかと思います。

保護者も施設も行政も子供を中心にしてその役割を果たし、協力し合わなければ福祉の世界は成り立っていきません。



療育シリーズ

Hくんの常同行動

園長 土井尚典

常同行動は「手の平をひらひらさせる」「上体を前後にゆらゆらさせる」など自分で体を動かすことによって、動かすこと自体が刺激となつてまた体を動かすという自己刺激の行動である。その刺激は体の中の筋肉や骨や皮膚に感じる刺激であったり、目で感じるもの、耳で感じるものであったりする。また幾つかの自己刺激が絡み合っている場合もある。

Hくんは幾つかの常同行動をもっている。「手すりにつかまってジャンプする」「軸足を中心にくるくる回る」「立ったまま両足を開いて体を左右に動かす」「タオルをくるくる回す」「水の中で決まったりリズムで手首を動かす(水遊び)」等である。これらの行動は彼にとって暇な時間に起き易い。これらの行動が起きているときに他の

行動に誘うとすぐに止んでしまう。

「止めなさい。」と叱ると自分の手を噛んで怒り出すことがある。

しかし、この場合でも他の行動に誘うと怒りも静まり素直に従う。

ところが水遊びだけは場面によって大変違う。トイレの洗面所で水を一杯に張って水遊びをしている

ときは、叱っても怒り出さないし、他の行動に誘っても素直に止めて

従う。ところが入浴中に湯舟で手首を動かす水遊びを始めるとなかなか止まない。「肩までつかりな

さい。手はひざのうえ。」と言うと

とそのとうりにするが、手は水中にあるので、手首は動いている。

「手を動かさない。」と言うと指先だけ動いている。「指も動かさ

ない。」というとなにか我慢でき

ない。目を離すと手首が動き出す。

この水遊びはかなり大きな水音と湯舟の中が波打ってしまふほど強烈である。私はその日は手順を間違えていきなり「止めなさい。」

と言って湯舟から彼を引き出した。すると驚いたことに手首の動きが止まらないのである。手首がぶる震えながら水をかく動作をしていた。湯舟に戻して「肩までつか

ると止んだ。このことを指導員に話すと同じ経験をもっていた。特徴はたまりかねて「いきなり強い口調」で叱ったときに起きる。いきなり叱られれば誰でも状況判断ができないで意味不明の行動をする事があるが、行動はプツンと切れ易い。彼の場合は脳の中で「水遊びする」と決めた神経回路がはまりこんで抜けないまま状況判断しようとしているように見えた。自己刺激が伝わったままである。入浴中の自己刺激だけが



何故遮断されないのか不思議である。

彼の中で入浴中は水遊びをする
と決めているのではないか。「入浴
中に水遊びをしていけない」と指
導することは全く効果がない。あ
やふやかな指導と言える。入浴中
水遊びのチャンスを与えない声か
けによって大津波がなくなります
かどうか今後の楽しみです。

自閉症療育セミナーの報告

末永博美



去る10月6日に、社会福祉法人
三気の会が主催し、熊本市総合体
育館に138名の参加を頂き、第
2回自閉症療育セミナーを開催し、
講師に東京より、コロロE.Tセン
ターの所長で、自閉症療育の第一
人者、石井聖先生をお招きし、一
緒にコロロのスタッフ7名と生徒
20名の総勢28名で、熊本に来て頂
きましたことを、報告します。午
前の部は、実技指導でダイナミッ

クリズム(DR)の訓練場面を見
せて頂きました。DRとは、集団
音楽療法で約2時間のプログラム
によって不規則な行動リズムを改
善し、集団の中で自立動作を促す
療法です。約70名参加者が会場い
っぱいに、汗を流しながら、集団行
動の指導を受けました。

午後の部は、石井先生の講話で、
テーマは「自閉症の反応特徴を活
用して」と題して講義頂き、参加
者より自閉症障害についての質問
があり、熱心に応答して頂き、閉
会となりました。以上の事がセミ
ナーの報告ですが、今後も『三気
の会』は、自閉症療育に取り組ん
で参りますので、関係各位のご協
力とご声援を、頂きますようお願い
申し上げます。

ダイナミッククリズムに参加して

橋本加代子

昨年行われた療育セミナーで、
石井先生より、ダイナミッククリ
ズムの話聞き、興味を持っていま

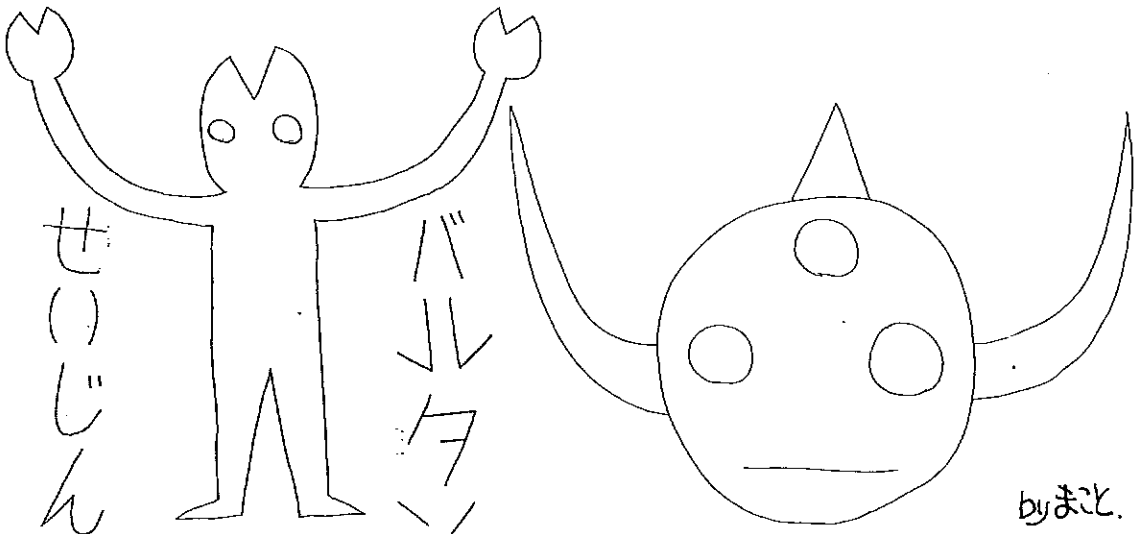
したので、今回の実演は楽しみに
していました。

ダイナミッククリズムには、コロ
ロの子供達が20名三気の里の園生
が22名、それに夏の実践キャン
プに来てくれたようちゃん、ちなみ
ちゃん、ゆきこちゃん、まことく
ん、セミナーに父兄と一緒に来た
子供達と、総勢70名余りが参加し
ました。私は、今回初めてダイナ
ミッククリズムに参加したので、流
れについて行くのがやっとで、最
初の円をかいて全速力で走るとこ
ろですすでに体力を使い果たしてし
まい、コロロのスタッフの人の元
気さに圧倒されてしまいました。
スタッフの人に、走っている時は、
手をつないではいけないと、怒ら
れとまどったり、みんなも、初め
てのことで、動きについていけな
い部分もありましたが、ダイナミッ
クリズムに参加し、いい勉強にな
りました。



3 班 秋

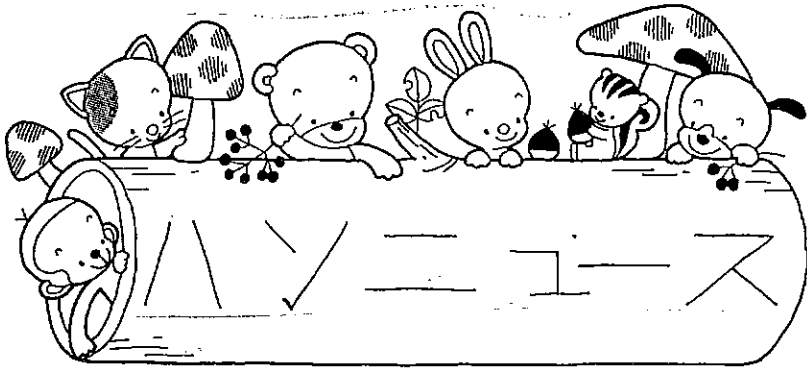
食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋と何をするでも一番良い季節となり、我々3班も作業では作品展覧会に向けて、すのこ製作に頑張っているところです。やはり去年とはいくぶん違い、技術の上達、能率も良くなり、平均して一日当たり2倍の早さになっています。これもメンバー全員が作業に対して集中できている証拠だとおもいます。そんな忙しい中、10月4日の日に中央町にあります日本一の石段、三千三百三十三段登りに挑戦してきました。残念ながら一名病気の為参加出来なかった園生もいたのですが、他園生11名職員4名全員登りました。さすがに苦しかったところもあったのか、泣きべそかいて登る人もいたのですが、遅い人がいる時にはみんなで待ったり、お互い励ましあいながらのよい経験でした。帰りの車は、台風で倒れた樹木の間を通り帰りました。苦勞して山上まで車で来てくれた園長に感謝する私達でした。 田之上



4 班 実りの秋

秋を迎え、畑の横の木々も日増しにはんわりと赤や黄と色づき、秋の到来を感じさせているようです。ところで、現在4班は実りの秋です。先日は作品展覧会に出品しようと、かぼちゃ・さつま芋・枝豆の収穫をしました。スコップを片手にせつせと、さつま芋を掘ってくれたのは外作業組。内作業組は枝豆の収穫に追われ、刈り取ったものを運ぶ人、実をちぎる人に別れ、とっぷり日が暮れるまでその作業は続きました。西原村の畑を借りて作った枝豆やさつま芋、愛情のかけ方がちょっと少なかった割には沢山収穫することが出来ました。

収穫したものはパーベキューにしたり、ゆがいたり、焼芋にしたりと、みんなのおやつへと早変わりです。ちょっと虫がかじっていたり、形は不格好でも作業を頑張った後に食べるおやつには格別です。 山中



1 班 バランスの秋

11月11日の1班レクは菊水町にある丸太村でのバーベキュー。10月は梨狩りと食べるが続きました。梨を3個食べてギブアップした肇君はバーベキューだといくらでも入りそう。外で食べる時は好き嫌いをしない憲ちゃん、準備と後片付けを頑張った久美ちゃん、この3人が1班の今回の大食漢ベスト3でした。行儀が良すぎて、手を出さなかった博君、逆に悪くて叱られっぱなしの勝ちゃん、上品に一品ずつ皿に載せて食べていた聡士君はあまり食べれなかった3人、マイペースで好きな物ばかり食べていたのが辰治さんと宣陽さんと忠ちゃんの3人。1班は1人1人を見ると個人差が大きいのですが全体で見ると結好バランスのとれている班だなとこれを書きながらつくづく感じた次第です。当日、丸太村の皆さんは台風一過の後片付けや修理でお忙しかったのに、お邪魔させて頂き有り難うございました。

田辺

2 班 現代湯布紀行

エッ2班が湯布院に！なんて声が聞こえそうですが、そうです、1泊2日の旅を敢行したのです。

天気は少々曇りでしたが、湯布院につくころには、上々の天気となりました。今回の試みとして父兄の参加、遊園地で恐い遊具に挑戦と少々無謀とも思える企画だったのですが、とっても楽しい旅だったのです。もううれしくて！

湯布院では、父兄と一緒に散策。私は英ちゃんと少々ドキドキしながら露天風呂に。いにしえを訪ねた健ちゃん、清き流れのお魚さんと遊んだ晃子さん。夜は志高湖畔の国民宿舎で疲れを癒しましたが、興奮して何人か眠れなかったようです。寝息は職員？

2日目、別府の地獄ではお金のない2班ですが、全地獄の湯煙を覗きました。皆は十分満足気でした。遊園地では、園生も職員も父兄もおっかなびっくり。ゴーカードから飛び出しそうとした人もいましたが、慣れるや、落下する遊具、回転する遊具、何でもござれの2班の勇士でした。次はジェットコースター征服だ！

坂井

菊池・阿蘇ブロック運動会

木下昭二

9月23日、菊池・阿蘇地区の10施設が七城町の町民グラウンドに集まって、秋晴れの快晴の中でブロック別の運動会が行われました。これまで県レベルで行っていた運動会をブロック別でやってみようという初の試みでしたので実行委員会でも綿密な打ち合わせをしていたにも拘わらず、当日、蓋を開けるまでは不安でたまりませんでした。が、そんな私の心配をよそに、沢山の父兄と、多くのボランティアさんの力添えのおかげで無事終了することができました。残念ながら今回は徒競走だけにしか参加できなかった園生も多かったのですが、徐々に障害走や綱引にも出れるようになり棄権種目を少なくしていきたいと思えました。何よりも大成功に終わってホッとしました。お世話戴いたご父兄、ボランティアの方々又各施設の職員の皆さんお疲れ様でした。

こうろぎ母さんの

栄養の話

牛島 妃佐美

台風19号の影響で、野菜が超高値。ハンバーグを作るにも、挽肉よりも付け合わせの野菜の方が高くとつとつか!

しかし、我が家の台所では、大根足を含めて大根だけは豊富。11月、12月は、秋大根の収穫期でおいしい時期です。ビタミンCに富み、ジアスターゼという食物の消化を助ける働きを持った酵素が含まれています。おろし大根にしてもよし、線切りにしてドレッシングで合えてもよし、炒め物、煮物、とっておきのおでんもいいですね。おろし大根と言えば、皆さん御存知ですか。人参のおろしたものと合えた”もみじおろし”は栄養があります。また、大根をおろして30分もたてば、ビタミンCは失われます。大変でも、食べる直前に食べる量だけおろしましょう。



|| 研修報告生口 ||

コロロ夏合宿

清田美加

夏：5泊6日の日程でコロロ夏合宿に参加。今年は山梨県甘利山方面への登山である。昨年話を聞かされていた私は、不安と緊張で一杯であった。又、子供達の名前すら知らない。その怖さと言ったらなかった。目的地まで、5時間の道のりを歩く。コロロスタッフの緊張感がひしひしと伝わって来て、私も子供達に負けまいと頑張る。翌日から雨。やっばりと喜んだのもつかの間、やっばり山へ登ることになった。霧もかかり、目の前が全く見えず山の怖さ



を知る。歩く間隔をつめる事、歩きながらの人数確認、分岐点での誘導の仕方等山での常識を教わると共に、大切さを納得させられた。下山途中や電車の中で6日間の事が次々に思い出された。解散場所につき、子供達のまた違った笑顔を見た途端、ホッとするとともに、別れが寂しくなった。とてもいい体験ができた：スタッフのみなさん、子供達へ感謝の気持ちで一杯である。ありがとうございます。

ぼらんていあ通信

去る、10月10日(木)にボランティア学習会を行いました。今回は、作業班4班の園生19名と一緒に久住登山を企画しました。7名のボランティアアさんが参加して下さり、朝8時半に三気の里を出発し、長者原から登って行きました。天候は、あいにく曇りで肌寒い一日だったのですが、園生を励ましながら登られ、最後まで登りきったこと

で満足されていたようでした。参加された方々、大変お疲れ様でした。次回11月23日(土)にまた学習会を計画しています。今度は、三角の自然の里へ出掛けて行き奉仕作業をします。またたくさんの参加をお待ちします。時間など詳しいことについては、別紙でご連絡します。

ボランティアありがとうございます

《学習会》 森 隆子 吉永晃子

砂野マリ 小野リカ 甲斐春好

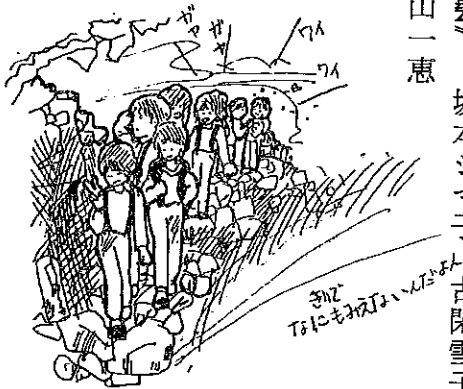
家入一乃 田上美奈子

《作品展示会》大塚(母) 伊石

(母・姉)

《散髪》 坂本シマ子 古閑雪子

遠山一恵



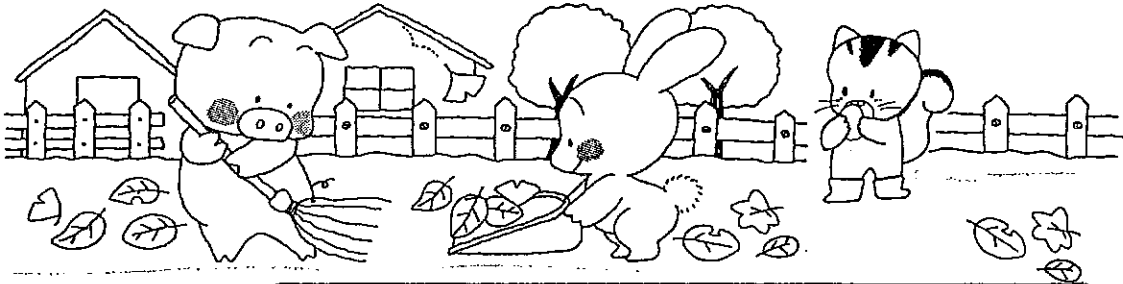
食堂営業中

食堂が「準備中」の時の厨房の様子はと言えば、忙しいときはそれこそ水をうったようにシーンとしていて包丁の音とガスの音位しかしていませんが、一度、誰かが口火をきって話し出すとケラケラと笑い声の音よりも響き出します。こしょうでくしゃみが出るとケラケラ。玉ねぎ切って目をうるませクスクス。包丁で指切っちゃってギャーギャー。厨房内は賑やかです。それから、地元森地区からパートで3人きていただいているんですが、3人共楽しい方達で益々もって賑やかです。時々話し(言葉)が通じなくて「あれっ?」となりますが、そこは地元出身の私が細かくくくだいて方言講座などしています。これが又おかしくて、みんな包丁持ったままお腹かかえて笑っています。ちなみに調理はちゃんとしてますよ。

田辺ゆ

11月の行事予定

1 (金)	17 (日)
2 (土) 療育相談 シーツ交換	18 (月)
3 (日) 休	19 (火)
4 (月) 休	20 (水)
5 (火)	21 (木) 2班レク
6 (水)	22 (金)
7 (木) 1班レク	23 (土) 休 Vo学習会 帰宅バス運行
8 (金)	24 (日)
9 (土) 保護者会 帰宅日	25 (月)
10 (日)	26 (火)
11 (月)	27 (水)
12 (火)	28 (木) 4班レク
13 (水)	29 (金) 大掃除
14 (木) 誕生会	30 (土)
15 (金) 3班レク 防災訓練	
16 (土) 療育相談日 シーツ交換	



寒くなりましたね。私も、とうとう風邪でダウンしてしまいました。皆さん、風邪には注意しましょうね。

編集後記

☺ 依夜 ぽん△云 日より
日ごとに寒くなってきました。先日、二の丸公園にて精薄児者の作品展示会が催されました。日常の中では会員の方を知る機会がありませんが、このような催事の場においでくださって声をかけていただき、うれしいことです。いつも応援してくださって本当にありがとうございます。

ゆき

後援会入会
ありがとうございます

白浜米穀店 嶋田一夫
北里聖子 清田郁雄

十月三十一日付け
※敬称略